

# 下水道特別委員会

6月13日開催

平成18年度下水道管路工事施工予定箇所及び池田浄化センター設備増設工事等、公共下水道事業の状況について説明を受けた。

**Q** 国の補助基準緩和や有利で効率のよい工事方法を十分調査して工事をすすめられたい。

**A** 事業費の縮減、削減も含める中で、工法等も検討しながら出来るだけ効率的なものを導入していく。

**Q** 養基地域の整備計画と下水道整備における費用対効果を考えた整備方針の見直し、考え方を決める時期にきているのではないか。

**A** 下水道整備に関しては、養基地域を含めた町全体での計画や、家屋間距離の問題、土地利用計画を考えて図面上で調査・検討に入っており、今後、説明をしていく。

**Q** 今年度の施工予定地区の中で、文化財等の埋蔵物等も含まれる地域があるので十分に注意されたい。

**A** 下田畑地域、湯殿神社付近あるいは、北の墓地付近だけでなく工事に係る中で遺物については細心の注意を図って工事を進めていく。

以上、公共下水道事業の状況についての報告を委員会として了とした。尚、これからの下水道事業に、地元業者の育成に努めてほしい旨の要望があった。

農業集落排水、公共下水道使用料についての説明と、現行の年一回の世帯ごとの使用料算定方法を、世帯員の異動を届け出制とし、毎月ごとの算定に変更していく旨の説明を受けた。

〔委員の意見〕

- ・ブロー等の費用を含めたものでの値上げに賛成。
  - ・住民に十分に説明し、理解して頂いた上で段階的に値上げすべき。
  - ・値上げは慎重に行うべき。
- 〔町側として〕

接続率の向上をはかりながら（一般財源）財政の繰り出しや実態、町の状況を住民に説明した上で、見直しを進めたい。

以上、農業集落排水、公共下水道使用料については、賛否両論あり、賛成論の中にも慎重論もあり、当委員会としては「継続審議」とした。

# 行財政改革特別委員会

6月14日開催

## 行財政改革について

池田町行政改革大綱及び、池田町集中改革プラン実施計画の説明に続き、先ず町長より「これからの町行政、町づくりは住民の皆さんと一緒にやっていかねければならない。これまでは行政がすべてをやってきたが、これからは地域で出来ることは地域でやってもらい、多少でも労力経費を節約する。そのために職員は一致協力し、議会の皆さんと一緒にやって頂きたい。」との考え方を示した。

**Q** これからの行政は情報の公開と住民参加による行政運営でなければならぬ。行政だけが一生懸命節減縮小に努力してもそのことを住民に強力でPRして欲しい。

**A** 池田町としては色々な面で削減しながら切詰められるところはきちっとやっている。他町村に劣らない改革を進めていると自負している。

**Q** 節減により出た経費を住民サー

ビスにどうつないでいくか？交付金の新しい枠組みについてどうか。今回の補正で4500万円程の税の伸びがあり、一定の基金をもちながら道路舗装などメリハリのある対応がしたい。また、町の財政力の計れるのは平成19年度と考えている。定率減税の廃止、税源移譲交付税がどうなるかよく検討してお知らせしたい。

**Q** 合理化、節約によって住民サービスが低下しないか。活力ある役場窓口にして欲しい。補助団体への補助金の見直しに当委員会も参画したい。

**A** 役場は、町で一番大きなサービス機関であり住民との接触にはあिसつの徹底をしたい。補助金についても検討の機関を設け委員にも参画し審査して欲しい。

〔以上委員会として〕

池田町行財政改革大綱及び池田町集中改革プラン実行計画の報告を了とした。